

# 目黒区の明日を問う

## 代表質問と答弁 要旨

●詳細は、目黒区議会会議録または区議会ホームページの「会議録閲覧・検索」をご覧ください。

### これからの10年を見据えた 区民の羅針盤たる施策を示せ

自由民主党目黒区議団 おのせ 康裕 議員

**<長期三計画と基本構想の着手は>**  
実施計画・財政計画・行革計画の策定についての留意点と区の憲法とも言える基本構想の着手について問う。  
**区長** 重点的、優先的な事業の厳選、行財政運営の土台となる項目への着手、財政運営のルール遵守等に留意した。来年度、基本構想の確認・検証を行う。  
**<平成30年度当初予算編成について>**  
今年度予算の編成留意点について問う。

目黒1丁目旧第二田道保育園跡及び都営住宅27号棟の保育園転用を目指す。  
**区長** 旧第二田道保育園跡は、実現に向けて都話し合いを進めていく。都営目黒一丁目アパートは、整備の可能性について都話し合いを行っていく。  
**<2020を契機とした街づくりの展望について>**  
(1)駒場駅前国有地の活用積極的に呼応し、地元の要望を実現せよ。(2)絶対高さ制限を改正し、緊急輸送道路沿道や商業地の開発を促進せよ。  
**区長** (1)国の動向を見極め、議会・地域の要望も聞きながら、慎重かつ丁寧に進めていく。(2)地域特性を踏まえ、安全に安心して暮らすことのできる活力ある街づくりを進めていく。  
**<地域のコミュニティ交通網の促進を実現せよ>**  
シェアサイクル実証実験から、地域の交通網を検証して真のバリアフリーコミュニティ交通網を実現せよ。  
**区長** 国や他自治体の取組状況を勘案し、地域住民と、区、民間事業者とが連携・協力して地域交通の課題を解決できる仕組みを調査研究していく。  
**<隣接学校希望入学制度の休止について>**  
地域の学校を目指し隣接学校選択制の休止を検討せよ。  
**教育長** 小学校の隣接学校希望入学制度については、制度の休止も含め、前向きに検討していく。  
**<国に先駆けた幼児教育充実>**  
教育委員会と私立幼稚園の幼児教育懇話会を設置し幼児教育の充実を研究せよ。  
**教育長** 関係所管とも連携し、幼児教育のあり方等について、相互の情報や理解の共通を図る場の設定に努めていく。

### 互いに支え合い、住みやすい 目黒を目指して

公明党目黒区議団 武藤 まさひろ 議員

**<所信表明について>**  
(1)職員に対して抜本的意識改革についての区長の考えを問う。(2)平成32年4月までに待機児童ゼロは達成できるのか。  
**区長** (1)不祥事は他人事ではなく自らの問題であるという意識の強化に向け取り組みを進める。(2)スピード感を持ちながら、丁寧かつ粘り強く取り組み、着実な保育所開設につなげていく。

将来の商業施設や介護施設のあり方を踏まえ、区有施設をどう考えているのか。  
**区長** 将来的な人口減少社会を見据え、公共施設と民間施設との関連性も踏まえながら、区有施設のあり方を検討していく。  
**<コミュニティ施策について>**  
選ばれる町会・自治会になるためには、どう発展させていくのか。  
**区長** 町会・自治会活動の活性化に向けて支援を強化していく必要はもちろん、必要性をより感じてもらえる活動を展開していくこと、地域への関心を誘う工夫や気軽に活動に参加できる環境を整えることが求められている。  
**<入学支度金について>**  
入学前の支給は国の要綱改正と各自治体での取り組みが進んできたことが、背景か。  
**教育長** 国の要綱改正を踏まえ、特別

### 9条に自衛隊の明記止めよ! 住民の暮らしを守る区政に

日本共産党目黒区議団 石川 恭子 議員

**<9条改憲の動きと平和について>**  
(1)安倍政権は9条の3項に自衛隊の明記を狙っている。軍隊として海外での武力行使を無制限にするものだが区長の認識を問う。(2)区の平和祈念行事の取り組みは、子どもたちに戦争の悲惨さと平和を考える機会を与えている。平和特派員として全小中学校の代表を広島に参加させるべきではないか。  
**区長** (1)法の定めに従って国におい

公有地の活用を。①第二田道保育園跡地②防衛省の2万㎡を超す移転跡地。(3)待機児童がベビーシッターを利用するときの費用の助成を。  
**区長** (1)適正な受益者負担、応能負担の考え方に基づいた保育料の見直しは必要。(2)①都と連携を深め活用の具体化が図れるよう取り組む。②引き続き情報収集に努め適切な対応を図る。(3)都から示される制度内容や必要性と質の確保も含め検討し、対応を判断する。  
**<安心して介護を受けられるために>**  
(1)要支援者が利用する総合事業の水準を引き下げることなく維持せよ。(2)国に対し生活援助の利用抑制の動きを止めよと声を上げよ。(3)低所得者への利用料軽減を5%から7%支援に。  
**区長** (1)支障がなくサービスが供給されるよう、引き続き適切な基準の設定に努める。(2)基準改正に関して、国に対して声をあげていくことは考えていない。(3)現段階では利用者負担のさらなる軽減は考えていない。  
**<職員体制の拡充を>**  
(1)保育園職場の産休育休代替えが埋まらず欠員となっている。人材派遣制度を止め職員の増員を。(2)増えている被保護世帯への丁寧な対応をするためにも担当するケースワーカーの増員をせよ。  
**区長** (1)継続的に人材が不足する職種については、代替要員拡大を検討する。(2)今後とも、より適切な執行体制のもとに事業を進めていく。  
**<国に目黒の上空を低空飛行する計画の説明会を求めよ>**  
**区長** 他自治体との意見調整等も踏まえ、丁寧な説明の実施を要望していく。

### 住みたいまち、住み続けたいまち 目黒の実現に向けて

立憲民主・区民クラブ 青木 早苗 議員

**<行財政運営への取組み姿勢について>**  
(1)区長の任期前半の2年間にどのような成果をあげてきたのか。今後2年間どのような取組み姿勢や方針で行財政運営を行っていくのか。(2)行革計画改定案の2つの重点戦略である、組織・職員数の適正化と人材育成については、どのように進めていくのか。  
**区長** (1)総合行政としての区政に取り組むとともに、安全・安心なまちづく

り、子育て支援などに、積極的に取り組んできた。今後もこれまでの取組みを継続・充実するとともに、実施計画の着実な推進や行財政改革に取り組む。(2)執行体制の検討・見直しを行い、ワーク・ライフ・バランスに留意しながら、新たな行政課題や状況の変化に対応できる組織を目指していく。  
**<健康づくりの推進について>**  
(1)区は啓発用の「健康づくり実践ガイド」により、健康づくりの大切さを訴えているが、生活習慣病の予防について平成30年度以降どのような点に力を入れて取り組んでいくのか。(2)妊娠前から子育て期まで継続した支援を受けられる「ゆりかご・めぐろ」事業の保護者の反響、及び親子の健康づくりについて今後どのように取り組んでいくのか。  
**区長** (1)糖尿病や高血圧症などで治療中の方を対象とした生活習慣改善を目指した保健指導を行っていく。また、胃内視鏡検診や乳がん検診の受診促進により、がんの早期発見を進めていく。(2)「ゆりかご・めぐろ」事業は好評であり、この事業を区との接点のきっかけとすることにより、親子の健康保持増進に努めていく。  
**<今後の教育施策について>**  
(1)学校教育プランに沿った取り組みの進捗状況と30年度から新たにどのような施策に取り組んでいくのか問う。(2)英語が身につく取り組みを積極的に進め、充実を図ることには区立小・中学校の魅力づくりのひとつになるが、今後英語教育に対してどのように取り組んでいくのか。  
**教育長** (1)29年度は、いじめ防止対策における対応組織の設置などを着実に進めて進めてきた。30年度以降も引き続き学校教育プランに基づく取り組みを着実に進めていく。(2)児童・生徒の英語に対する興味や関心をさらに高めながら、国際社会を生きる国際人としても活躍できるよう英語教育の一層の充実を図っていく。

# 区政のここが聞きたい

## 一般質問と答弁 要旨

●詳細は、目黒区議会会議録または区議会ホームページの「会議録閲覧・検索」をご覧ください。

### 東京2020オリンピック・パラ リンピックに向けて

自由民主党目黒区議団 田島 けんじ 議員

**<東京2020大会機運醸成>**  
(1)昨年と一昨年、過去2回行われた目黒シティランについて、その総括と今後の方針を問う。(2)目黒区内に大使館があるケニア共和国と東京2020大会に向けてホストタウン事業の覚書を締結したが、今後の対応を問う。  
**区長** (1)第1回大会での課題に取り組んだ結果、一定の成果があった。予算

(2)東京2020大会を踏まえて、区立学校の体育施設や運動場等の設備の充実について問う。  
**区長** (1)間もなく実施設計が終了する予定である。改修工事にあたっては近隣へ配慮するとともに、目黒体育協会やスポーツ関係団体等のご意見を伺いながら準備を進めている。  
**教育長** (2)オリンピック・パラリンピック教育を推進していく観点も踏まえながら、区立学校の体育施設や運動場等の整備に努めていく。  
**<中学生スポーツ交流>**  
日本・中国・韓国の3カ国にある3区間(目黒区・東城区・中浪区)での中学生交流スポーツ事業について、その総括と今後について問う。  
**区長** 中学生同士の交流や、3区の自

### 「支え合う温かな目黒」を めざして

公明党目黒区議団 いいじま 和代 議員

**<いのちを救う防災対策について>**  
(1)公明党が提案し作成された女性視点の防災ブック「東京くらし防災」の周知・配布・活用方法を問う。(2)障がい者等の災害時要配慮者(※1)の「個別支援計画」の作成が必要である。(3)自宅に残る障がい者等が避難所に来なくとも、家族や代理人がカードを持っていけ

いく。(2)個別支援計画を必要とする新たな対象者について、可能な限り早期の作成に向けて取り組んでいく。(3)災害時要配慮者のご家族の方等が地域避難所に来られた場合、その旨を申し出ていただければ、必要な食糧等をお渡りできるようにしたい。(4)防災士の皆さんの意向を確認するとともに、他の先進自治体の事例も参考にしながら、調査・研究していく。  
**<社会参加と健康を考えたボランティアについて>**  
(1)「めぐろシニアいきいきポイント事業」の推進方法について問う。(2)シニア読み聞かせボランティア「りぶりんと」プロジェクト(※3)を世代間交流ボランティアとして導入するべきである。

### 生活保護と公営住宅の削減 反対、子ども予算要望書作成

日本共産党目黒区議団 森 美彦 議員

生活保護費削減について(1)前回最大10%削減の影響を実態調査せよ。今回最大5%削減に対する当事者の意見を聴け。(2)低所得世帯の生活に波及するが、国都区で、どのような施策に影響するか。(3)区長は生活保護費削減に反対せよ。(4)実際に利用できている人は2割、利用率を上げる努力をせよ。  
**区長** (1)継続的に人材が不足する職種については、代替要員拡大を検討する。(2)今後とも、より適切な執行体制のもとに事業を進めていく。  
**<国に目黒の上空を低空飛行する計画の説明会を求めよ>**  
**区長** 他自治体との意見調整等も踏まえ、丁寧な説明の実施を要望していく。

を設置せよ。(2)子どもと貧困対策についてしっかり位置づけよ。実態調査を徹底し総合的具体的な目標値を示した計画とせよ。(3)世界人権宣言70周年にふさわしく、子ども予算要望書づくりなどを旺盛に展開せよ。  
**区長** (1)子ども施策推進会議の答申の中に子どもたちの意見が十分反映されることを期待している。(2)次期子ども総合計画に必要な施策を掲げるとともに、福祉、教育などの支援策を総合的に推進する。(3)人権施策を総合的に推進していく中で、子どもの権利に関する啓発についても、取り組みを進めていく。  
**就学援助入学支度金について**、国は小中学生とも2万円台から4万円台に引き上げている。区でも速やかに引き上げよ。  
**教育長** 引き続き、各区の実施状況を

### 指定管理者施設職員の労働環 境確保 非常勤職員の確保!

立憲民主・区民クラブ 吉野 正人 議員

**<指定管理者導入施設職員の労働環境>**  
区民に対する施設サービスの質の維持・向上の観点からも重要な、指定管理者制度導入施設における施設職員の労働環境の確保に努めていく。  
**<障がいのある方のプール利用時の対応>**  
**区長** 労働法制上の課題は生じていないとの認識であるが、30年度から労働環境モニタリングを試行実施する予定であり、引き続き指定管理者制度導入施設における施設職員の労働環境の確保に努めていく。

種補助金等も活用しながら施設整備や各種器具整備等の取組みを推進せよ。  
**区長** リフトバスによる送迎のほか、車椅子の配備やエレベーター・誰でもトイレ、一部には入水用のスロープ等を整備し、安全で快適な利用に向け、国や都の補助金等も活用し計画的に取り組んでいく。  
**<非常勤職員の待遇改善・募集方法>**  
特に子育てに関する分野で不足している非常勤職員について、更なる待遇改善等の取組みを行い、募集方法を工夫しながら人材確保に努めよ。  
**区長** 欠員が継続的に生じている職種は、処遇面での見直しも含め、職員の確保を積極的に進めていく。募集につい

会派名称の変更	民進党目黒区議団(民進)⇒立憲民主・区民クラブ(立区) (30.2.5から)
住所・電話番号が変わりました	小林かなこ議員(自民) 住所 原町1-12-2-201 電話 6303-2628

平成29年度 区議会情報公開の状況 (平成30年3月31日現在)	平成29年度の区議会情報の開示請求は、ありませんでした。 <問い合わせ> 区議会事務局庶務係 ☎03-5722-9413
--	--